

標準作型

△印・定植

□印・収穫

作 型	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
露 地				△	△	[ ]						

**栽培のポイント**

ナス科のトマト・ナス・ピーマン・ジャガイモ等は青枯病などの土壌病害虫が発生しやすいので、連作を避け、ナス科作付けを3~4年以上空けること。

畑の準備 苦土石灰 (10kg/a)、堆肥 (100kg/a) は1ヶ月前に施しておく。

元 肥 (1 a 当たり使用量)

肥料名	施肥量	施肥時期
CDU 燐加安 S555 号タマゴ	7 kg	定植前
ようりん	5 kg	

品 種  
 キャロル10 (サカタ) : 裂果しにくく着色が良い。葉かび病抵抗性。  
 アイコ (サカタ) : プラム型のミニトマト、高糖度で肉厚、裂果しにくい。  
 フルティカ (タキイ) : 果重が30 から 50g になる球型の中玉トマト。比較的裂果しにくい。  
 レッドオーレ (カネコ) : 果重が40 から 50g の球型の中玉トマト。草勢が強い。

定 植 晩霜のなくなった頃、一段目の花が咲き始めたら定植する。トマトの花は同じ方向に向く性質があるので、定植する時は花を「通路側」に向けるようにすると収穫がしやすい。  
 ※ 株間 40~45 ㎝、うね幅 70~90 ㎝  
 定植本数の目安 : 240 本/a (苗の根付きを良くさせるために必ず支柱を立て誘引する)

仕立て・誘引 基本的には合掌型に誘引支柱を組む。生長を見越して、ゆるめに支柱に8の字に結う。

整 枝 花房のすぐ下から出るわき芽は勢いよく出るので、小さいうちにかき取る。

追 肥 第3花房、第6花房が開花した時に行う。  
 (1 a 当たり使用量)

肥料名	施肥量	施肥時期
NK化成2号	2 kg	第3花房開花時
		第6花房開花時

摘 芯 作業が可能な高さ (目安は8段程度) で葉を2~3枚残して摘芯する。

病虫害防除 梅雨前から疫病対策に予防剤を散布する。  
 また、ウイルスを媒介するアブラムシ類、コナジラミ類、アザミウマ類の防除を徹底し、6月頃から気温の上昇とともに、大型のガの幼虫 (オオタバコガ、ハスモンヨトウ) が増えるので、適宜防除する。

※農薬は、「ミニトマト」または「野菜類」に登録のあるものを使用すること (トマトとは異なるので注意する)。